

「ほっとルーム」だより



第83号

平成27年7月1日発行

いちき串木野市家庭教育支援連絡協議会

(教育委員会 社会教育課内 Tel 21-5130)

家庭教育について提言をいただきました。

株式会社 富士工業所 梶 要一郎



私の子どもは4歳、1歳とまだ小さいのですが、私が子どもと接する時に、少しでもオーバーアクションを心掛けています。子どもの反応は素直で、おもいきり遊び喜べば、子どもも素直にとっても楽しそうですし、真剣に怒れば反省もしてくれます。

最近、外で声がすると、近所のお兄ちゃん、お姉ちゃんと一緒に遊ぼうとして外に出ていってしまいます。最初は少し心配なところもありましたが、遊びの輪に入っていこうとする姿に頼もしさを感じると共に、それを受け入れてくれる近所の子どもたちにも感謝です。「人は人なか、木は木なか」と言われます。子どもには子どもの世界があるので、見守ることも大切だと感じ、これからも子育てしたいと思います。

本は心のとびらを開く！

毎月23日は「読書の日」

「読書は心の栄養」など、読書のすばらしさが言われています。市の社会教育課でも、小さい時から本に親しむ事を願い、6ヶ月健診時に、親子読書のお勧めや図書館の使い方の説明とともに、絵本2冊と手提げ袋を贈り、動きのある大型絵本の読み聞かせを行っています。

ご家庭でも、子どもと話し合って、テレビやゲームをお休みさせて、親子で一緒に読書したり、読み聞かせをしてあげるなど、子どもが本に親しむ環境を作ってみてはいかがでしょうか。



ブックスタート

お勧めの本です。親子で読んでみませんか。

【低学年用】

「いたずらこねこ」

バーナディン・クック / 文
レミイ・シャーリップ / 絵
まさきりこ / 訳

「およう」 なかのひろたか / 作



【中学年用】

「こねこのぴっち」

ハンス・フィッシャー / 文 絵
石井桃子 / 訳
「はははのはなし」
加古里子 / 文 絵



【高学年用】

「ヒギンズさんととけい」

パット・ハッチンス / 作
たなかのぶひこ / 訳

「どうながのプレッツェル」

マーグレット・レイ / 文
H・A・レイ / 絵
わたなべしげお / 訳



子育ての中で、気になること等があったら、一人で悩まず、いつでも気軽に、ご相談ください。一緒に語りましょう。

ほっとルーム：教育委員会 社会教育課内

TEL:21-5130 : FAX:36-5044 : メール:いちき串木野市ホームページ(子育て)

※ ご希望があれば、長子に限らず、どの学年でも訪問いたします。

アンケートへのご協力 ありがとうございました。



串木野小学校・照島小学校・市来小学校・川上小学校・生福小学校の保護者の皆様に、本年度1回目のアンケートをお願いしましたところ、ご多用中にもかかわらず、ご協力をいただき、貴重なご意見をたくさんいただきました。深く感謝申し上げます。今後の取組に活かしていきたいと思います。アンケート結果の概要は、下記のとおりです。

1 家庭教育に対する悩みについて

- 「悩みをもっている」20%弱。
- 「悩みの内容」は、「親子関係」「しつけの悩み」「情報や学習の場」の悩みが多く「相談の場」がこれに続いています。

2 PTAや家庭教育学級への出席状況及び出席できない理由

- PTA・授業参観は、「ほとんど出席」と「時々出席」を合わせると、約95%の出席があるものの、「PTAのみの出席」が多い。「ほとんど出席できない」が、5%弱あります。
- 出席できなかった理由としては、「開催時刻」「開催日」とも約30%、その他の理由では、「もっと前に分かれば出席できる」「仕事の都合」等があります。

3 周り(地域や保護者同士)との関わりについて

- 多くの人が「ある」と回答。「関わりがない」という回答は、約7%ありました。

4 「ほっとルーム」だよりについて

- 「毎号読む」と「時々読む」を合わせると約95%強の保護者に読んでもらっています。
- 「はっとする思いで、夜、ゆっくり読んでいます。時間に追われた状態の中で、少しでも子どもに寄り添った子育てができればと思います。参考になります。」等の意見がありました。

5 長子家庭の訪問について

- 約85%強の保護者が「良い取組だ」という意見でした。中には「希望者だけでもよいのでは」「全学年や転入家庭も対象にして欲しい」という意見もありました。

6 「ほっとルーム」の出前サロン「おあしす」について

- 約90%の人が「良い」という回答でした。
- 「参加した事がありますが、いろいろな親の意見が聞けて楽しかった」や「良い取組だと思いましたが行きづらい」等の意見もありました。

- 子育てや家庭教育についての悩みをもつ方が約20%おられます。長子家庭訪問でお話をお聞きしたり、「ほっとルーム」だよりの一口アドバイスにも取り上げたいと思います。また、「ほっとルーム」の出前サロン「おあしす」も入りやすい雰囲気づくりを工夫したいと思います。電話相談も受け付けています。
- 長子家庭訪問は、話したい事があってもなかなか自分から言いづらいご家庭もありますので、今後も1年生の長子家庭訪問をさせていただければと思います。また、何か気になる事がありましたら、名刺の連絡先に連絡くださればありがたいです。
- みんなが集える家庭教育学級や母親学級・読み聞かせグループ等の、情報提供を行ってまいります。
- 今後も引き続き、商工会議所や商工会、青年会議所、各事業所へ「ほっとルーム」だよりをお届けしたり、提言をいただいたりする中で、子育てへの支援をお願いしてまいります。